



(1/2)  
20240220 評基認第 003 号  
2024 年 12 月 4 日

# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を ASNITE 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: ASNITE 0018 Testing

適合性評価機関の名称: 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
食品研究部門 食品分析・標準化チーム

法人の名称: 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

適合性評価機関の所在地: 茨城県つくば市観音台二丁目 1 番地 12

認 定 範 囲: 別紙のとおり

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (ASNITE-T (E)) に  
記載した認定要求事項

認定発効日: 2025 年 1 月 29 日

認定の有効期限: 2029 年 1 月 28 日

初回認定発効日: 2007 年 3 月 30 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 堀 坂 和 秀

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

事業所名：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

食品研究部門 食品分析・標準化チーム

事業所所在地：茨城県つくば市観音台二丁目1番地12

実施する業務：マネジメントシステム管理、試料保管、分析試験、結果の妥当性確認、  
試験報告書の発行

認定区分			試験項目／試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術			
化学製品	標準物質 (試験)	PCR (ポリメラーゼ連鎖反応法)	遺伝子組換え体濃度／トウモロコシ、ダイズ (標準物質関連のものに限る)	JAS 分析試験ハンドブック 遺伝子組換え食品検査・分析マニュアル (第3版) (平成24年9月) 消費者庁通知平成27年消食表第139号 (改正令和3年消食表第389号) 別添「遺伝子組換え食品関係」 ISO 21570:2005 Annex C4-9 妥当性確認済み遺伝子組換え体検査法： トウモロコシ： NK603、MON863、TC-1507、T25 系統 (研究論文1) MIR604 系統 (研究論文2) LY038 系統 (研究論文3) MIR162 系統 (研究論文4) 3272 系統 (研究論文5) ダイズ： MON89788 系統 (研究論文6) A2704-12 系統 (研究論文7)	2025年 1月29日
		ガンマ線スペクトロメトリ	放射性セシウム／コメ、コムギ (標準物質)	厚生労働省通知平成24年食安発0315第4号 (別添)	2025年 1月29日

研究論文1 Reona Takabatake, et. al., Evaluation of Quantitative PCR Methods for Genetically Modified Maize (MON863, NK603, TC1507 and T25), *Food Sci. Technol. Res.*, 16 (5) 421-430, 2010

研究論文2 Junichi Mano, et. al., Development and Validation of Event-Specific Quantitative PCR Method for Genetically Modified Maize MIR604, *Food Hyg. Saf. Sci.*, 53, (4) 166-171, 2012

研究論文3 Junichi Mano, et. al., Development and Validation of Event-Specific Quantitative PCR Method for Genetically Modified Maize LY038, *Food Hyg. Saf.*, 54 (1) 24-30, 2013

研究論文4 Reona Takabatake, et. al., Development and Validation of an Event-Specific Quantitative PCR Method for Genetically Modified Maize MIR162, *Food Hyg. Saf. Sci.*, 55 (5) 205-209, 2014

研究論文5 Reona Takabatake, et. al., Selection of Suitable DNA Extraction Methods for Genetically Modified Maize 3272, and Development and Evaluation of an Event-Specific Quantitative PCR Method for 3272, *Food Hyg. Saf. Sci.*, 57 (1) 1-6, 2016

研究論文6 Reona Takabatake, et. al., Establishment and Evaluation of Event-Specific Quantitative PCR Method for Genetically Modified Soybean MON89788, *J. Food Hyg. Soc. Japan*, 51 (5) 242-246, 2010

研究論文7 Reona Takabatake, et. al., Development and Interlaboratory Validation of Quantitative Polymerase Chain Reaction Method for Screening Analysis of Genetically Modified Soybeans, *Biol. Pharm. Bull.* 36 (1) 131-134, 2013